

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業			
事務事業名	美原こども館管理、美原こども館健全育成		事業番号	038-078		
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	美原こども館	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進		
			有	取組の方向性	③健やかな心身の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7		
			有	取組	生涯を通じた学びの支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—			

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	昭和 56 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市立美原こども館条例		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	子ども（小学校に就学する児童及び小学校就学前の子どものこと。以下同じ。）及びその保護者	対象数	単位
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	子どもの体力の増進及び情操のかん養を図り、その健全な育成に資すること。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>子どもに対して健全な遊びの場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美原区内に4館を設置（各館には再任用職員等1名、会計年度任用職員2名を配置） ・ソフト事業として、児童文化教室（硬筆、茶道等）や各行事（遊びの会等）を実施 ・地域のクラブ、サークル（大人）の活動の場としての施設でもある（子どもの活動を排除しない範囲） 		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	施設修繕施工業者		
10	公民連携・協働事業	校区福祉委員会との協働事業として毎年、各館ごとに3種類の世代間交流事業を実施。		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 利用者数	人	目標値	30,000	20,000	25,000		
		実績値	13,404	20,272			
		達成率	45%	101%			
当該指標を選定した理由		当該数値がこども館事業成果や実績全体を最も可視化できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各事業参加者数の総計（新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し目標値設定）					
12 児童文化教室の開催数	回		実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
		目標値	200	150	165		
		実績値	118	165			
	達成率	59%	110%				
当該指標を選定した理由		こども館の主たる事業のひとつであるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各教室開催数の総計（新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し目標値設定）					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	美原こども館管理、美原こども館健全育成	事業番号	038-078
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	67,256	35,475	41,525	37,568	39,860
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
一般財源	67,256	35,475	41,525	37,568	39,860
14 人件費 (b)	11,700	11,800	8,200	8,200	4,100
15 年間経費(c)=(a)+(b)	78,956	47,275	49,725	45,768	43,960

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R3 決算
16 事業費内訳	会計年度職員報酬	R3 決算	20,324	20,324	施設警備等委託料	R3 決算	462	462
		R4 予算	20,868	20,868		R4 予算	462	462
	期末手当(会計年度職員)	R3 決算	3,689	3,689	ひらお周辺水路清掃業務等	R3 決算	968	968
		R4 予算	3,960	3,960		R4 予算	979	979
	費用弁償	R3 決算	546	546	謝礼金	R3 決算	1,416	1,416
		R4 予算	1,876	1,876		R4 予算	1,440	1,440
	施設修繕料	R3 決算	2,540	2,540	その他(消耗品等)	R3 決算	6,246	6,246
		R4 予算	2,500	2,500		R4 予算	5,302	5,302
施設清掃業務等	R3 決算	1,377	1,377		R3 決算			
	R4 予算	2,473	2,473		R4 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 利用者数	人	13,404	20,272
② 上記①にかかる年間経費	千円	47,275	45,768
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,527	2,258
備考(算出についての説明等) ■ 2年度はコロナの影響により利用者が大幅に減少したが、3年度は休館日、事業中止が少なくすみ利用者が前年より増えた。			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	新型コロナの影響下であるが、緊急事態宣言などによる休館日や事業中止が令和2年度より少なかったため、利用者が増え費用対効果が上がった。
----	--

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	こども館での遊びの場の提供や文化教室をはじめとする様々な主催事業の実施を通じて、子どもの体力増進や情操のかん養を図り、その健全な育成に資するということも館の設置目的を果たすことにより、子どもの健やかな心身の育成に寄与していると考えている。
----	---